

広島都市圏

旧千葉家住宅改修 主屋棟など公開

海田町教委 太いはりや柱

県重要文化財の座敷棟がある海田町中店の旧千葉家住宅で、これまで非公開だった主屋棟が改修され、7日からホールとして公開が始まった。今後は座敷棟や県名勝の庭園と合わせ、毎月4日間公開される。国の有形文化財登録に内定している近くの三宅家住宅も月1日の定期公開を始める。いずれも無料。



改修されたのは400平方メートル以上ある建物群のうち主屋棟などの



改修された旧千葉家住宅の主屋棟

は酒造と運送業で栄えた同家の繁栄がしのばれる。事業費約3300万円。町教委が国の交付金を活用した。今回の公開は10日まで。同家や三宅家などに残る広島藩の備蓄らのびようぶと掛け軸計6点を展示している。旧千葉家住宅は2011年、町に寄贈されたが、一般公開は月数日、座敷棟と庭園に限られていた。今後は毎月第2土曜を含む金・月曜の4日間を定期公開日とする。

これに合わせ、近くの三宅家住宅(個人所有)も第2土曜を定期公開とし、衣裳蔵に五月人形など所蔵品を展示する。隣接の分家棟でも同じ日に町おこしグループがイベントを開催。一帯では観光力

古いこいのぼり 糸ほどきアート きょうから作品展

安芸太田

(田中伸武)



展示したこいのぼりを前に話す平野さん

「mm project (エムエム プロジェクト)」が始まる。5月16日まで。平野さんは古着や靴などを解体し、解いた糸で創作する。今回は、ギャラリーを所有する水野美奈子さん(57)と同町IIの自宅の蔵で約50年間保管されていた長さ約5メートルのこいのぼりを使用。背中や頭部を残して糸を一本ずつほどいて飾っている。1930〜80年代の水野さん家族の写真約40枚も並べる。平野さんは長崎県諫早市出身で、広島市立大大学院芸術学研究科修士。先月、同市から移住してきた。「糸をほどくことで、物語や違った空気が現れる。人を感じる気持ちや家族の歴史に思いをはせてもらえれば」と話している。

「ひろしま さとやま未 来博2017」の一環で、無料。祝日を除く木曜が休みで、不定休もある。☎0826(22)6777。(山田太一)